PART3 戦争への道

Chapter1　世界三分割

目標
「枢軸」国の意味と，国内体制の特徴をおさえよう。
枢軸国に対する自由主義国の開戦前の態度を理解しよう。

1　枢軸陣営（右翼的全体主義）

①**イタリア**（ムッソリーニのファシスト党）

1935年　〔　　　　　　　　　　〕に侵攻

1936年　エチオピア全土を併合→国際連盟は初の経済制裁実施（効果は不十分）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の結成→ヒトラーと急接近

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕で**フランコ**将軍派を公然と支持して勝利（～39年）

※反ファッショ**人民戦線内閣**は，ソ連や欧米の社会主義者・知識人の**国際義勇軍**が支援。

1937年　〔　　　　　　　〕**三国防共協定**→前年の日独防共協定にイタリアが合流

国際連盟脱退→三国枢軸の結成

※イタリアは常任理事国だったが，1933年の日本・ドイツに続き脱退。

1938年　ミュンヘン会談（英・仏・独・伊）

1939年　アルバニア併合

②**ドイツ**（ヒトラーのナチ党）

1936年　**ベルリン＝ローマ枢軸**の結成→ムッソリーニと急接近

スペイン内戦でフランコ将軍派を公然と支持して勝利（～39年）

日独防共協定

1937年　日独伊三国防共協定

1938年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕**併合**→ドイツ民族統合が名目

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕でチェコスロヴァキアの**ズデーテン地方**獲得

1939年　**チェコスロヴァキア解体**

※東のスロヴァキアが保護国，ベーメン・メーレンが保護領。

〔　　　　　　〕**不可侵条約**

③日本の挙国一致内閣

1936年　**日独防共協定**（広田弘毅内閣）

1937年　**日独伊三国防共協定**（近衛文麿内閣）

1938年　張鼓峰事件（近衛文麿内閣）

1939年　**ノモンハン事件**・独ソ不可侵条約（平沼騏一郎内閣）

2　自由主義陣営と社会主義陣営（左翼的全体主義）

①**自由主義陣営→アメリカ**のフランクリン＝ローズヴェルト大統領（民主党）は傍観

1936年　スペイン内戦に**英・仏**は不干渉（～39年）

1938年　**ミュンヘン会談**で英・仏が独・伊に対し〔　　　　〕**政策**をとる

※イギリスの**ネヴィル＝チェンバレン首相**（保守党）。

②**社会主義陣営→ソ連**のスターリンとモンゴルのチョイバルサン

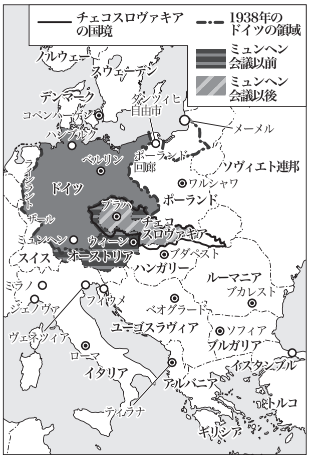
1936年　スペイン内戦で反ファッショ人民戦線内閣を援助

1938年　ミュンヘン会談で外されたソ連は英仏に不信感を抱く

張鼓峰事件（ソが日と軍事衝突）

1939年　ノモンハン事件〔ハルハ河戦争〕（ソ・蒙が日と軍事衝突）

〔　　　　〕**不可侵条約**



ナチス＝ドイツの領土拡大

まとめ

「枢軸」とは世界の中心たる国々の連帯という意味で，国内では右翼的全体主義の体制をとった。

独・伊に対し，アメリカは傍観，英・仏は宥和（ゆうわ）政策で弱腰であった。

Chapter2　日中戦争

目標
日中戦争開始時の日本が目指していた「国策の基準」を理解しよう。
日本の戦時体制の最も核になる法律をおさえよう。

1　日中戦争開始直前の情勢

二・二六事件の後，陸軍の発言力が増す。

1936年　広田弘毅内閣（文官）の組閣

※軍部大臣現役武官制の復活，「国策の基準（＝南北併進）」の決定，

〔　　　　　　　　〕**協定**の締結，**華北分離工作**の推進。

〔　　　　〕**事件**が起こる

※国民党の**張学良**が〔　　　　　　〕を軟禁，共産党との内戦停止へ。

1937年　宇垣一成（陸軍）の組閣断念と林銑十郎（陸軍）の組閣

2　日中戦争と戦時体制

①〔　　　　〕**戦争**〔支那事変〕の展開

華北分離工作の推進中，**北京**郊外で支那駐屯軍が起こした戦闘が，宣戦布告のないまま中国全土に拡大。日本は“点と線”（＝都市と鉄道）の支配に留まる。

※中国では，**第二次国共合作**により〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立。

1937年　第一次〔　　　　　　　　〕**内閣**（貴族院）の組閣

〔　　　　　　〕**事件**（７月７日）

第二次上海事変

日独伊三国防共協定

〔　　　　〕**事件**→蒋介石は**重慶**に国民政府を移転

1938年　第一次近衛声明→「（蒋介石の）国民政府を対手とせず」

第二次近衛声明→「（戦いの目的は）**東亜新秩序**建設」

第三次近衛声明→「（汪兆銘の新政府に対する）近衛三原則」

張鼓峰事件

近衛文麿

1939年　ノモンハン事件・独ソ不可侵条約→平沼騏一郎内閣「欧州の天地は複雑怪奇」

〔　　　　　　　　　　　　　〕**開戦**

※日本は不介入方針（阿部信行内閣・米内光政内閣）

②**戦時体制**への転換→総力戦体制へ

1937年　企画院の設置

国民精神総動員運動開始

1938年　〔　　　　　　　　　　〕**法・電力国家管理法**（第一次近衛文麿内閣）

1939年　賃金統制令・国民徴用令・価格等統制令

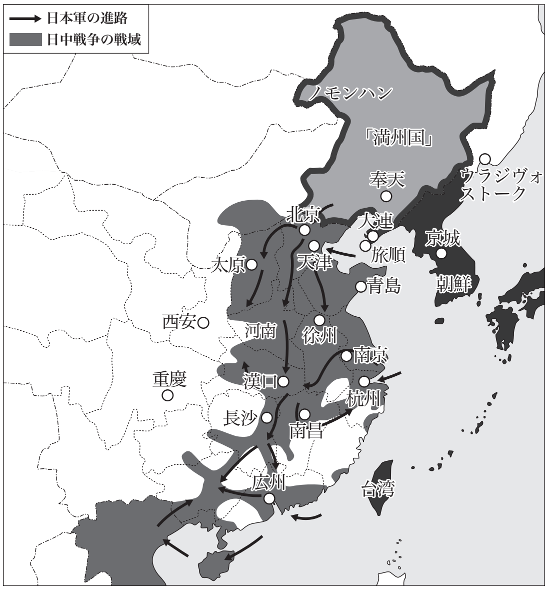
1940年　七・七禁令「ぜいたくは敵だ」「欲しがりません勝つまでは」

元首相近衛文麿による**新体制運動**「バスに乗り遅れるな」

〔　　　　　　　　　　〕・大日本産業報国会の結成（第二次近衛文麿内閣）

米の配給制

1941年　**国民学校令**→皇国民の錬成をはかり「八紘一宇」の精神を教える



日中戦争要図

まとめ　日中戦争時の日本が目指していた国策は「南北併進」だった。
日本の戦時体制の最も核になったのは国家総動員法だった。

第11講　PART3　確認問題

1　イタリアが1935年に侵攻したのはどこか。

①　ザール　②　エチオピア
③　ラインラント　④　アルバニア

2　スペイン内戦で活躍した将軍はだれか。

①　フランコ　②　ネヴィル＝チェンバレン
③　チョイバルサン　④　ブルム

3　1938年にドイツが併合したのはどこか。

①　アルバニア　②　オーストリア
③　エチオピア　④　スロヴァキア

4　ドイツがチェコスロヴァキアのズデーテン地方を獲得することを決定した会談はどれか。

①　ミュンヘン会談　②　ヤルタ会談
③　マルタ会談　④　カイロ会談

5　日本の挙国一致内閣のうち，広田弘毅内閣と関連のあるものはどれか。

①　ノモンハン事件　②　張鼓峰事件
③　日独防共協定　④　日独伊三国防共協定

6 1939年，日本軍とソ連軍が軍事衝突した事件はどれか。

① ノモンハン事件　② 張鼓峰事件
③ 済南事件　④ 盧溝橋事件

7 スペイン内戦に対し，不干渉だった国はどこか。

① ドイツ　② ソ連
③ イギリス　④ イタリア

8 1936年に起こった，国民党の張学良が蒋介石を軟禁した事件はどれか。

① 西安事件　② 南京事件
③ 済南事件　④ 張鼓峰事件

9 第二次近衛声明はどれか。

① 「東亜新秩序建設」　② 「欧州の天地は複雑怪奇」
③ 「近衛三原則」　④ 「国民政府を対手とせず」

10 戦争遂行のため，挙国一致を中心に精神高揚を図った運動を何というか。

① 国家改造運動　② 新体制運動
③ 超国家主義　④ 国民精神総動員運動

第 11 講　PART3　確認問題　解答

1 解答：②　イタリアは，1936 年にはエチオピア全土を併合した。

①：ドイツが編入した。
③：ドイツが進駐した。
④：1939 年に併合した。

2 解答：①　スペイン内戦は，スペインの人民戦線政府とフランコの指揮する軍部との間で起こった内戦。

②：イギリスの首相。
③：モンゴル人民共和国の建国に活躍した。
④：フランスの首相。

3 解答：②　ドイツは，民族統合を名目としてオーストリアを併合した。

①：イタリアが 1939 年に併合した。
③：イタリアが 1936 年に併合した。
④：1939 年にドイツの保護国とされた。

4 解答：①　ミュンヘン会談では，イギリスの宥和（ゆうわ）政策によりドイツの要求を容認した。

②：1945 年に開催された，アメリカ・イギリス・ソ連の三国首脳による戦後処理に関する会談。
③：1989 年に開催された，米ソ首脳が冷戦終結を宣言した会談。
④：1943 年に開催された，アメリカ・イギリス・中国の三国首脳による戦後処理構想に関する会談。

5 解答：③　日独防共協定は 1936 年に結ばれた。

①：平沼騏一郎内閣と関連がある。
②：近衛文麿内閣と関連がある
④：近衛文麿内閣と関連がある。

6 解答：①　ノモンハン事件はモンゴル国境で起こった事件で，日本軍は大敗した。

②：1938 年に起こったソ連と満州の国境紛争。
③：1928 年に中国の山東省で起こった，中国の国民革命軍と日本軍の衝突事件。
④：1937 年に起こった，日中戦争のきっかけとなった事件。

7 解答：③　フランスとともにイギリスが不干渉であった。

①：フランコ将軍派を公然と支持した。
②：反ファッショ人民戦線内閣を援助した。
④：フランコ将軍派を公然と支持した。

8 解答：①　西安事件後，日中戦争が勃発し，第二次国共合作が成立する契機となった。

②：日中戦争中の 1937 年に起こった，日本軍が南京を占領した事件。
③：1928 年に中国の山東省で起こった，中国の国民革命軍と日本軍の衝突事件。
④：1938 年に起こったソ連と満州の国境紛争。

9 解答：①　日中戦争の目的についての声明である。

②：平沼騏一郎内閣総辞職のときの声明。
③：第三次近衛声明。
④：第一次近衛声明。

10 解答：④　国民精神総動員運動は，日中戦争勃発後，近衛文麿内閣が提唱した。

①：青年将校・右翼・国家社会主義者を中心とした革新運動。
②：一国一党の国民組織を結成しようとした運動。
③：第一次世界大戦後に起こった極端な国家主義。